



あはは



☆子育て中の皆様、子育て支援ボランティアの皆様へ☆

気が付けばもう秋。日中のお出かけもしやすくなってきました。今回ご紹介するのは北夙川・苦楽園地区で開かれている「エンゼルぷらざⅡ」のお出かけ版、「出張！！エンゼルぷらざⅡ」です。「出張！！エンゼルぷらざⅡ」は、年間3回苦楽園市民館で開催されます。第1回目に行ってきた様子をご紹介します。



日時：10/5(水)、3/1(水)

10:00～11:30

場所：苦楽園市民館

対象：0歳～未就園児とその保護者

北夙川・苦楽園地区
出張！！
エンゼルぷらざⅡ

池の隣です。



↑会場の入り口

「出張！！エンゼルぷらざⅡ」は、自治会長からの依頼で、「エンゼルぷらざⅡ」のスタッフが苦楽園市民館に出向いて、昨年度から開催されています。子育て中の方に市民館を知ってもらい、交流の場になればという思いから依頼されたそうです。坂が多く、出会うことがなかなか難しい地域なので、市民館がお母さんたちのつながる場になってほしいと話してくださいました。苦楽園市民館は、木立の中の池の隣にある建物です。エントランスは天井も高く、白い壁が明るい印象を与えます。



↑まずは一音一音練習

今回の活動は、ハンドベルです。地域の民生委員でハンドベルをしておられる方が講師で、自身のハンドベルを持って来られました。参加したお母さんたちはハンドベルを触るのが初めての方もあり、皆さん緊張の面持ちでハンドベルを持ちます。音の鳴らし方、音の止め方から教えてもらい、まずは「きらきら星」。何度か演奏するとぼっちりと息があった演奏になりました。次は伴奏を付けて、ベルを鳴らす回数が増えて忙しくなりましたがすぐにできるようになりました。2曲目は「ドレミの歌」。難易度が格段に上がりました。同じような流れで練習し、最後はキーボードと合わせての演奏になりました。とてもきれいな優しい音色が部屋いっぱいに広がりました。ブラボー！

子供たちは、スタッフとおもちゃで遊んだり、お母さんのお膝に座ったり、素敵な音色を聞きながら思い思いに過ごしていました。お母さんからは、「子供といつも一緒。自分一人で何かをすることがほとんどないので、ハンドベルの演奏はとても楽しかった。」という声が聞かれました。

母自身が練習し、母自身が他の人の音に耳を傾け、心一つにする短いけれど貴重な時間だったと思います。そして、地域の方の思いがこれからもつながっていくことでしょう。

次回（10月5日）は、「おはなし会」。こちら楽しみですね。子供が絵本に親しむ機会を作ってあげたい方、ママ友の知り合いが欲しいと思ってる方、ぜひ遊びに行ってみてください。地域の方が優しい笑顔で迎えてくださいますよ。

（10月5日の次は、3月1日「親子でリズム遊び」の予定です。）



↑キーボードに合わせて本番



↑スタッフとおもちゃで遊ぶ子供たち